

事 務 連 絡
令和4年11月29日

各都道府県・指定都市教育委員会指導事務主管課
各 都 道 府 県 私 立 学 校 主 管 課

御中

文部科学省初等中等教育局
参事官（高等学校担当）付
産 業 教 育 振 興 室

農業高校における農業教育の充実に向けた取組の推進について（周知）

平素より産業教育の振興に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

農業者の高齢化と減少が急速に進むことが見込まれる中、農業に関心を持つ若者が学ぶ場である農業高校は、農業の持続的発展の実現に当たって重要な役割を担っており、生徒の就農意欲を高めるためには、スマート農業などの先端技術に関する実習や先進的な農業経営者による出前授業など、魅力的かつ実践的な教育を実施していくことが重要であると考えております。

他方、令和3年度「農林水産業を学ぶ高校生の就農・就業に向けた人材育成の方策の方向に関する取組状況のフォローアップ調査結果」によれば、高度な農業技術を導入している農業経営者等の下での実習を実施していない農業高校も見られるなど、自治体によって取組状況に差が生じていると考えられ、全国的に取組を推進していく必要があります。

農林水産省において、農業高校等における農業教育の充実を図るため、令和3年度から、「農業教育高度化事業」において、スマート農業等の実習に必要な農業用機械・設備の導入、先進農業者等による出前授業や現地研修の実施等を支援しており、令和5年度においても予算要求を行っているところです（別紙1参照）。加えて、令和4年度第2次補正予算においても、「新規就農者確保緊急対策（別紙2参照）」において、農業高校等における農業用機械・設備の導入や施設整備に対する支援を措置しております。

また、スマート農業の教育コンテンツの充実や農業高校等の教員のスキルアップ等に資するため、スマート農業に関する基本的な技術・用語から実践まで体系的に学ぶことができる動画を作成し、WEB サイトで順次公開（別紙3参照）するとともに、本年12月以降、教員向けのスマート農業研修を実施する予定と

なっております。

ついては、都道府県教育委員会にあっては、所管の農業に関する学科を置く高等学校及び域内の農業に関する学科を置く高等学校を設置する市町村教育委員会に対し、指定都市教育委員会にあっては、所管の農業に関する学科を置く高等学校に対し、都道府県私立学校主管課にあっては、所轄の農業に関する学科を置く高等学校及び学校法人に対し、周知いただきますようお願いします。

本件について、御不明な点などございましたら、農林水産省経営局就農・女性課までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

【本件担当】

初等中等教育局参事官（高等学校担当）付
産業教育振興室産業教育係（小川、白羽、鴨谷）
TEL：03-5253-4111（内線 2384）

事 務 連 絡
令和 4 年 11 月 28 日

文部科学省初等中等教育局参事官（高等学校担当）付産業教育振興室 御中

農林水産省経営局就農・女性課

農業高校における農業教育の充実に向けた取組の推進について

日頃より、農林水産行政への御理解、御協力をいただき、ありがとうございます。
農業者の高齢化と減少が急速に進むことが見込まれる中、農業に関心を持つ若者が学ぶ場である農業高校は、農業の持続的発展の実現に当たって重要な役割を担っており、生徒の就農意欲を高めるためには、スマート農業などの先端技術に関する実習や先進的な農業経営者による出前授業など、魅力的かつ実践的な教育を実施していくことが重要であると考えております。

他方、令和 3 年度「農林水産を学ぶ高校生の就農・就業に向けた人材育成の方策の方向に関する取組状況のフォローアップ調査結果」によれば、高度な農業技術を導入している農業経営者等の下での実習を実施していない農業高校も見られるなど、自治体によって取組状況に差が生じていると考えられ、全国的に取組を推進していく必要があります。

農林水産省では、農業高校等における農業教育の充実を図るため、令和 3 年度から、「農業教育高度化事業」において、スマート農業等の実習に必要な農業用機械・設備の導入、先進農業者等による出前授業や現地研修の実施等を支援しており、令和 5 年度においても予算要求を行っているところです（別紙 1 参照）。加えて、令和 4 年度第 2 次補正予算においても、「新規就農者確保緊急対策（別紙 2 参照）」において、農業高校等における農業用機械・設備の導入や施設整備に対する支援を措置しております。

また、スマート農業の教育コンテンツの充実や農業高校等の教員のスキルアップ等に資するため、スマート農業に関する基本的な技術・用語から実践まで体系的に学ぶことができる動画を作成し、WEB サイトで順次公開（別紙 3 参照）するとともに、本年 12 月以降、教員向けのスマート農業研修を実施する予定としております。

つきましては、貴室におかれましては、各都道府県教育委員会に対し、上記の補助事業及びスマート農業教育コンテンツ等の情報について周知いただくとともに、スマート農業を始めとする農業教育の一層の充実について依頼いただきますようお願いいたします。

＜対策のポイント＞

農業大学校、農業高校等における農業機械・設備等の導入、海外研修、スマート農業等のカリキュラム強化、現場実習、出前授業の実施等を支援します。

＜事業目標＞

- 40代以下の農業従事者の拡大 (40万人 [令和5年まで])

＜事業の内容＞

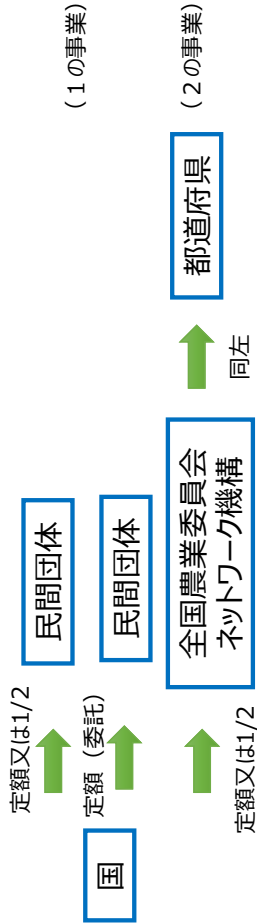
1. 全国事業

- 民間団体による以下の取組を支援します。
 - ・ 農業教育機関の指導者、学生等の能力向上に資する研修の実施
 - ・ 民間団体が運営する農業教育機関等の農業教育高度化の取組 (県域を越えるもの)
 - ・ 農業教育機関の講義で活用できるオンライン講座の作成

2. 都道府県事業

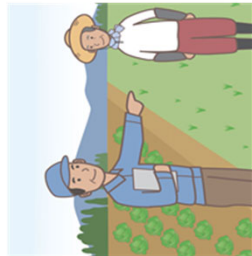
- 地域の担い手育成の課題等を踏まえ、各都道府県ごとに、目指すべき農業教育の全体像を明確にした農業教育高度化プランを作成し、プランの実現に向け、農業大学校・農業高校等の農業教育機関における農業教育の高度化、充実のための以下の取組を支援します。
 - ・ スマート農業、環境配慮型農業等の教育カリキュラムの強化
 - ・ 研修用農業機械・農業設備の導入
 - ・ e-ラーニングの導入
 - ・ 現場実習等、若者の就農意欲を高める取組
 - ・ ICT環境の整備
 - ・ 国際的な農業人材育成のための取組

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

全国段階



都道府県段階

都道府県が農業教育での必要な取組を明確化した計画（農業教育高度化プラン）を作成



高校への出前授業

都道府県の実情に応じた農業教育の高度化

〇〇県農業教育高度化プラン

1. 地域の課題
2. 農業教育の目的
3. 目標
4. 農業教育機関の役割分担・重点教育機関
5. 農業教育の高度化に必要な取組
 - ・ スマート農業カリキュラム強化
 - ・ 高校への出前授業
 - ・ LAN環境の整備

新規就農者確保緊急対策

【令和4年度補正予算額 2,600百万円】

＜対策のポイント＞

新規就農者等の就農準備や初期投資促進、農業高等学校・農業大学校・農業高校等における農業教育の高度化、女性が働きやすい環境の整備、農業の魅力発信等の取組を支援します。

＜事業目標＞

40代以下の農業従事者の拡大（40万人〔令和5年まで〕）

＜事業の内容＞

1. 新規就農者等の就農準備、初期投資促進に対する支援

- ① 次世代を担う農業者を目指す49歳以下の者に対し、就農準備を支援する資金を交付します。
- ② 就農後の経営発展のために、都道府県が機械・施設等の導入を支援する場合、都道府県支援分の2倍を国が支援します。

2. 農業教育への支援

農業大学校、農業高校等における農業教育の高度化を支援します。

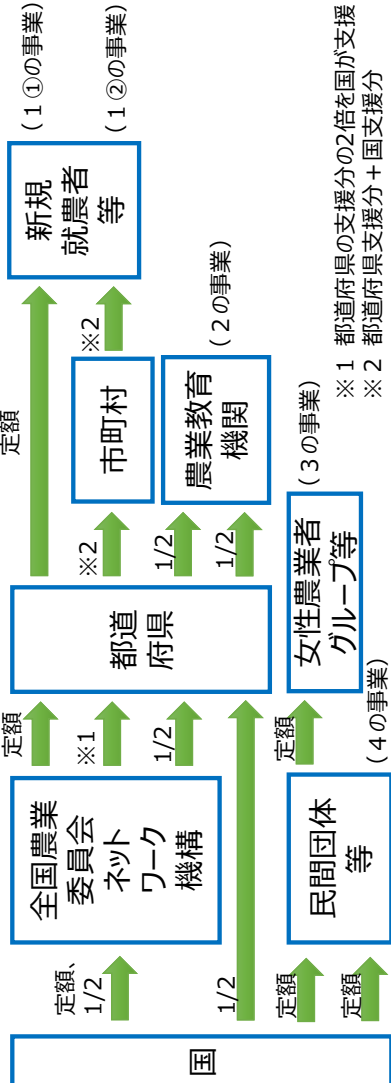
3. 女性が働きやすい環境の整備等に対する支援

男女別トイレや更衣室の確保等の女性が働きやすい環境の整備、女性農業者のグループ活動の開始又は発展等の取組を支援します。

4. 農業の魅力伝える取組に対する支援

職業としての農業の魅力発信の取組を支援します。

＜事業の流れ＞



【お問い合わせ先】

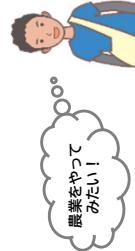
- (1の事業) 経営局就農・女性課 (03-3502-6469)
(2の事業) 就農・女性課 (03-6744-2160)
(3の事業) 就農・女性課 (03-3591-5831)
(4の事業) 就農・女性課 (03-3502-6469)

(別紙2)

＜事業イメージ＞

情報発信

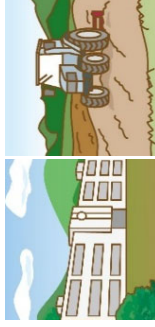
- ・ロールモデルとなる農業者による職業としての魅力発信



環境整備

- ・農業教育機関における研修用機械・設備の導入、施設の整備

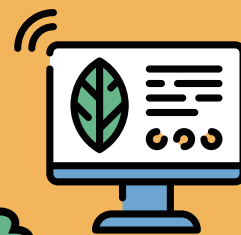
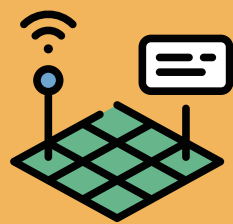
- ・男女別トイレや更衣室の確保等の女性が働きやすい環境の整備、女性農業者のグループ活動の開始又は発展等の取組を支援



新規就農

- ・研修期間中の就農希望者に、12.5万円/月(150万円/年)を交付
- ・認定新規就農者に対して機械・施設、家畜の導入、果樹・茶の新植・改植、機械リース等を支援する場合、都道府県支援分の2倍を国が支援





スマート農業

オンライン講座

北海道大学
スマート農業教育拠点



現在、日本の農業の現場では、生産者の高齢化や後継者不足、
人手不足が深刻な課題です。

また、その一方で世界では人口が増加し、食料不足が危惧されています。

このような課題に対して、「スマート農業」が
未来の食料生産を支える技術として期待されています。

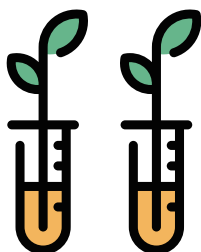
最先端の農業技術として注目されている「スマート農業」について
基本的な技術・用語から実践まで体系的に学ぶことができる講座をご用意しました。

受講料
無料 0円

こんな方に
おすすめです!



教育機関で
農業を学んでいる方



教育機関で
農業を教えている方



農業に従事していて
最新事例を知りたい方





講座概要

スマート農業オンライン講座



第1章 基礎編

はじめに／GNSS／車両ロボット／ISOBUS／安全センサ
クラウド型データベース／通信技術／マシンビジョン
人工知能(AI)／ドローン

第2章 応用編

自動操舵／農作業ロボット／遠隔監視ロボット農機
水管理システム／営農支援システム／衛星リモートセンシング
可変施肥技術／ピンポイント防除技術／おわりに

講師紹介

石井 一暢

北海道大学大学院
農学研究院

田村 知久

公益財団法人とかち財団

オスピナ・リカルド

北海道大学大学院
農学研究院

小林 伸行

株式会社スマートリンク北海道

齋藤 伸一

NTTコミュニケーションズ
株式会社

岡本 博史

北海道大学大学院
農学研究院

鳥潟 與明

一般社団法人
東光虹川ものづくり財団

三浦 尚史

株式会社三浦農場

野口 伸

北海道大学大学院
農学研究院

若杉 晃介

国立研究開発法人
農業・食品産業技術総合研究機構

柚山 奈々

株式会社クボタ

志賀 弘行

ホクレン農業協同組合連合会

原 圭祐

地方独立行政法人
北海道立総合研究機構

多田 和博

株式会社
トプコンポジショニングアジア

白鳥 秀紀

エム・エス・ケー
農業機械株式会社

丹羽 昌信

ホクレン農業協同組合連合会

中川 宏

NTTコミュニケーションズ
株式会社

宿谷 貴博

株式会社ビコンジャパン

遠山 健一

ホクサン株式会社

本講座の受講登録の前に、**gacco会員の登録(無料)**が必要です

gacco会員未登録の方

会員登録はこちら



gacco会員登録済みの方

ログインはこちら



本講座の受講登録はこちら

※ログインした状態でお進みください

